

管内授業研究会（小学校国語）

（岡山県総合教育センター「小学校国語科における特別支援教育の観点を取り入れた授業を考える研修講座」と合同開催）

特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり



授業者：真庭市立遷喬小学校

指導教諭 室川 陽子

単元名：「お気に入りのことわざを見つけて『4-1ことわざブック』を作り、友達に紹介しよう」 第4学年

〈授業の概要〉室川指導教諭の説明

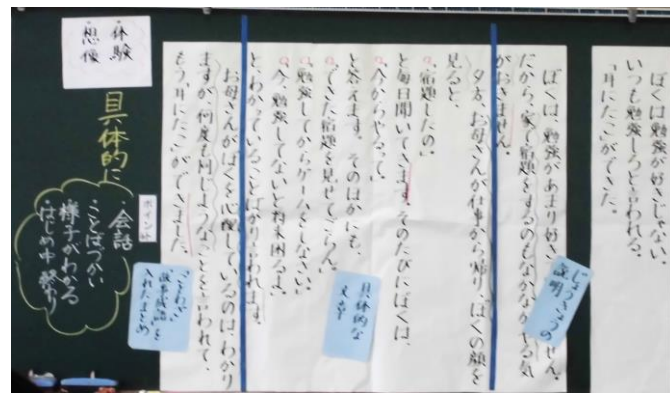
- ・ アセスメントシートと行動観察による実態把握を行い、学級や個人の困難さを把握し、必要な支援を考えました。
- ・ 「書くこと」に困難さを感じている児童が多いので、「ことわざブック作り」を行う言語活動を設定し、本時は書くことを中心に学習活動を組み立てました。
- ・ 本時は、2つのモデル文を比較して、構成の違い（書き方のポイント）を考えさせました。
- ・ 振り返りを大切にし、意図的に書く時間を設けています。

（※）アセスメントシート…学習集団の学習に関わる様々な能力（読む、書く、見る、聞く等）の全体的な特徴を把握し、それに応じた指導・支援を導き出す一助にすることができるシート



【困難さへの支援】

- ◇注意力・集中力の持続が難しいので…
⇒活動を短く区切る。
テンポよく授業を行う。
- ◇聞いた内容を理解し、必要なときに取り出すことが難しいので…
⇒ポイントを板書する。
分かりやすい言葉で話す。



〈グループ協議及び参加者の感想より〉

- ・ アセスメントシートを活用し、児童の実態を把握し、必要な支援をすると、安心して学べる空間づくりができることがわかりました。
- ・ 自分で考える、書く、交流する、まとめ・振り返りという学習活動が充実していました。
- ・ 単元全体を見通した計画を子どもと共に作ることが大切ですね。



～すべての子どもに『できた・わかった』を～